

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成28年6月23日(2016.6.23)

【公開番号】特開2014-6508(P2014-6508A)

【公開日】平成26年1月16日(2014.1.16)

【年通号数】公開・登録公報2014-002

【出願番号】特願2013-106723(P2013-106723)

【国際特許分類】

G 0 9 G 3/30 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

【F I】

G 0 9 G 3/30 J

G 0 9 G 3/20 6 1 1 G

G 0 9 G 3/20 6 1 1 F

G 0 9 G 3/20 6 2 3 R

G 0 9 G 3/20 6 2 3 B

G 0 9 G 3/20 6 2 1 B

G 0 9 G 3/20 6 2 3 C

【手続補正書】

【提出日】平成28年5月6日(2016.5.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の回路と、第 2 の回路と、発光素子と、を有し、

前記第 1 の回路は、第 1 の極性を有する第 1 の画像信号を保持する機能を有し、

前記第 2 の回路は、第 2 の極性を有する第 2 の画像信号を保持する機能と、前記第 2 の画像信号が有する前記第 2 の極性を前記第 1 の極性に変換することで第 3 の画像信号を生成する機能と、を有し、

前記発光素子は、前記第 1 の画像信号に従って発光する機能と、前記第 3 の画像信号に従って発光する機能と、を有する発光装置。

【請求項 2】

第 1 の回路と、第 2 の回路と、発光素子と、駆動回路と、を有し、

前記駆動回路は、第 1 の極性を有する第 1 の画像信号を生成する機能と、第 2 の極性を有する第 2 の画像信号を生成する機能と、を有し、

前記第 1 の回路は、前記第 1 の画像信号を保持する機能を有し、

前記第 2 の回路は、前記第 2 の画像信号を保持する機能と、前記第 2 の画像信号が有する前記第 2 の極性を前記第 1 の極性に変換することで第 3 の画像信号を生成する機能と、を有し、

前記発光素子は、前記第 1 の画像信号に従って発光する機能と、前記第 3 の画像信号に従って発光する機能と、を有する発光装置。

【請求項 3】

第 1 の回路と、第 2 の回路と、発光素子と、駆動回路と、を有し、

前記駆動回路は、第 1 の極性を有する第 1 の画像信号を生成する機能と、第 2 の極性を有する第 2 の画像信号を生成する機能と、を有し、

前記第 1 の回路は、前記第 1 の画像信号を保持する機能を有し、

前記第 2 の回路は、前記第 2 の画像信号を保持する機能と、前記第 2 の画像信号が有する前記第 2 の極性を前記第 1 の極性に変換することで第 3 の画像信号を生成する機能と、を有し、

前記発光素子は、前記第 1 の画像信号に従って発光する機能と、前記第 3 の画像信号に従って発光する機能と、を有し、

前記駆動回路が有するトランジスタは、結晶性を有するシリコンまたは結晶性を有するゲルマニウムが用いられており、

前記第 1 の回路が有するトランジスタは、酸化物半導体が用いられており、

前記第 2 の回路が有するトランジスタは、酸化物半導体が用いられている発光装置。